

# 誰でもできる DIY 室内塗装!



## 著作権と利用規約について

### 本マニュアルを使用するうえでの注意点

#### 【著作権について】

このマニュアルは、著作権法で保護されている著作物です。

本マニュアルの使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

本マニュアルの著作権は、作成者（株式会社塗装職人）にあります。

引用元を明らかにしないままの本マニュアルの全部または一部の複製、転載、流用、転売等を禁じます。

<https://www.google.com/webmasters/tools/dmca-notice?pli=1&hl=ja>

著作権等違反の行為を行った場合、その他不法行為に該当する行為を行った場合、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず、法的手段による解決を行う場合があります。

本マニュアルの情報において生じたいかなる結果につきましても、作成者は一切の責任を負わないことを了承のうえ使用できることとします。

# お部屋を自分でキレイに塗ってみよう!!

壁紙クロスのタバコのヤニ、汚れ、色あせがキレイに!!

新築のようにうす暗い部屋が明るくなります!!



和室塗装前



塗装後



洋間塗装前



塗装後





## 作業手順

1. 材料と道具。
2. コンセントカバー、照明カバーなどを外す。
3. 部屋の一切のほこりを掃除する。
4. 養生をする。
5. 下塗り塗料を塗る。
6. 中塗り・上塗り塗料を塗る。
7. 養生をはがす。
8. 漏れた塗料をふき取る。

# 1. 材料と道具

動画→<https://youtu.be/9KnxrsuY0hQ>



|      |                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 塗料   | アカルクス 下塗り塗料 15 kg 1 缶 上塗り塗料 15 kg 1 缶<br>今回作業面積 11 畳&5 畳の天井と壁で上記の量で足ります。          |
| 掃除用具 | ラスター ほうき等                                                                         |
| 養生   | マスキングテープ マスカー ガムテープ ポリシート ブルーシート                                                  |
| 塗装道具 | 筋かい刷毛 平刷毛 ローラー6 インチ ローラーハンドル ローラーバケット ローラーカートリッジ ローラーネット 下げ缶 下げ缶カートリッジ 長柄(ながえ) 脚立 |



今回の使用塗料はトップメーカー日本ペイントの室内次世代塗料のアカルクス。  
下塗りと上塗り塗料 1 缶ずつを用意。※一般室内塗料でも作業方法はほぼ同じです。



## 2. コンセントカバー、照明カバーなどを外す

動画→<https://youtu.be/1Gn7uYIBGq4>

壁を塗装するには、作業をするスペースが必要です。

テレビや家具などを壁から離し移動させます。

背の届かない場所を塗るためには脚立などを使って塗る必要もあるため、1メートル以上のスペースは最低限必ずとってください。

コンセントのカバーや壁に掛けてある飾りなどがそのままだと、塗料がついてはいけないためにその部分に養生の手間が発生します。

電気のカバー、カーテンなども含め、あらかじめ外しておけるものは、すべて外しておくことで作業がラクに進めます。



コンセントのカバーをはずします。とがったものや爪などで引っ掛けて手で取れます。



その下にある台座はビスで止まっているので、ドライバーではずします。



外した部品は、なくさないように一つにまとめておきます。



そのほか壁に取り付けてあるものをすべて外します。外さなくても塗装はできますが、作業の手間が大幅に違ってきます。



照明のカバーも外したほうが、やりやすいでしょう。



カーテンも外します。



細かい壁につけてあるものも、すべて取り外しましょう。



小物を取った状態。



### 3. 部屋の一切のほこりを掃除する。

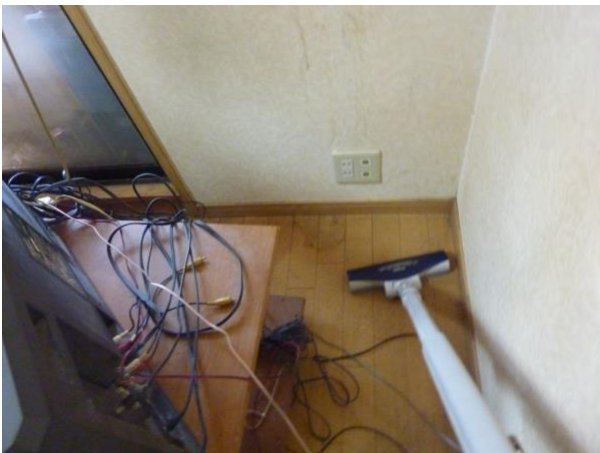
ほこりがあると、塗料と混ざったり壁にくっついたりしてキレイに塗ることができません。部屋の天井や床の隅、背の届かないカーテンレールやエアコンの上など、部屋中のほこりをきれいに掃除します。大掃除代わりになって、いい機会かもしれませんね。



カーテンレールなど、特に背の届かない場所はほこりがたまりやすい。



きれいに掃除します。



テレビや家具の裏なども、ほこりを残さないようにきれいにしましょう。



天井や天井付近の壁にもほこりなどが付いていることがあるので、掃除しておきます。



特に養生のテープを貼る部分はきれいにします。テープがつかなければ意味がないため汚れている場合は拭き掃除します。

## 4. 養生をする。

動画→<https://youtu.be/Imu53BpRHLM>



① ものを塗料の飛散から守る養生



② 塗装の線をまっすぐに仕上げる養生

### ① ものを塗料などの汚れから防ぐための養生。



ビニールでも OK ですが、歩いても破れないブルーシートなどで覆います。



テーブル、家具などは、より大きいものの養生に適した、ポリシートを使用します。



マスキングはこのようにビニールとテープが一体化しています。



コンセントはガムテープでも何でも、塗料がつかなければ何でも大丈夫です。





和室の窓



エアコン、エアコンのパイプ、塗料が付いてしまいそうな細かい場所は丁寧に、養生をします。



天井を塗るとローラーを転がせる際、必ず塗料が飛散するので余すことなくすべて養生をする。



マスカーに換気用の穴をあけます。ガムテープを貼りカッターで切れ目を入れると、風でヒラヒラうっとうしくないです。



室内にあるすべてのものをビニールで覆うのはポリシートやマスカーを使う。



養生の作業が甘いと・・・このように物に塗料が付いてしまいます。

②壁紙クロスと枠などの塗装との境の線を、きれいにまっすぐに仕上げるための養生。



テープをする部分が汚れているとテープがくっつきません。作業中にはがれてしまいそこから塗料が漏れてしまう可能性があるため、テープをする場所は必ずくっつきを良くするために、拭いてきれいにしてください。



壁紙クロスから2ミリ程度離して貼る。少しでもクロスの上に重なって貼ってしまうと、高い確率で塗料が漏れます。また微細があると凸凹の隙間から必ず塗料が漏れてしまいます。



**良い例。**クロスから1～2ミリほど離して貼る。



**悪い例。**クロスの上に少しでも、テープを乗せて貼ってしまうと、必ず塗料が漏れて仕上がりが悪くなります。



角や隅などのマスキングテープは、カッターでまっすぐ切ります。

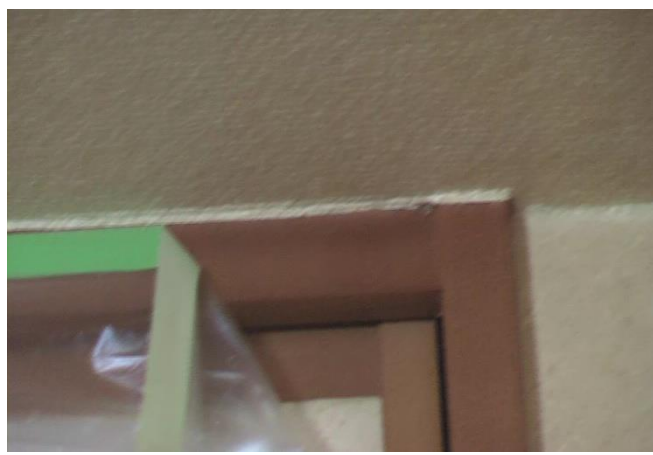


とくに角は塗料が漏れやすいため、必ずピタッとテープを貼ります。きっちり指で押さえます。





マスキングテープを貼ったら、その上からマスカーで覆っていきます。



マスキングテープを使わず、いきなりマスカーで養生をしてもOKです。その代りきっちりとテープをくっつけます。

とにかく塗料が漏れないようにピタッと貼り、漏れないようにすることが肝心と考えてください。漏れてしまうと仕上がり汚くなるばかりや、やり直しが大変になります！



## 5. 下塗り塗料を塗る

動画(はけ)→<https://youtu.be/rmbZ94Jr7CA>

動画(ローラー)→<https://youtu.be/mDgcxx-nYpU>

### ①塗料と水を混ぜる



塗料缶のふたを開けて、水を1リットルほど(上限1.5リットル)入れる。



ふたをしっかり閉め手で押さえながら、缶を逆さまにしながら良くゆすり中の塗料と水をよく混ぜ合わせます。

**ふたが取れると床にこぼれてしまい大変です!!**

※水を多く入れすぎると塗料がうすくなってしまい、3回重ね塗りをしたとしても、前の汚れシミが隠れずに浮き出てしまいキレイな仕上がりとならないことがあります。

逆に水が少なく塗料が濃すぎる場合は、後で塗料が足りなくなり塗りムラや刷毛の跡、ローラーのつなぎ目の跡などが出やすくなりますので仕様を守りましょう。

良く混ぜ合わさないと、缶の中の上の塗料の方はうすく下の方は濃い塗料というようになってしまうので、しつこいぐらいよく混ぜ合わせます。

## ②刷毛の使い方



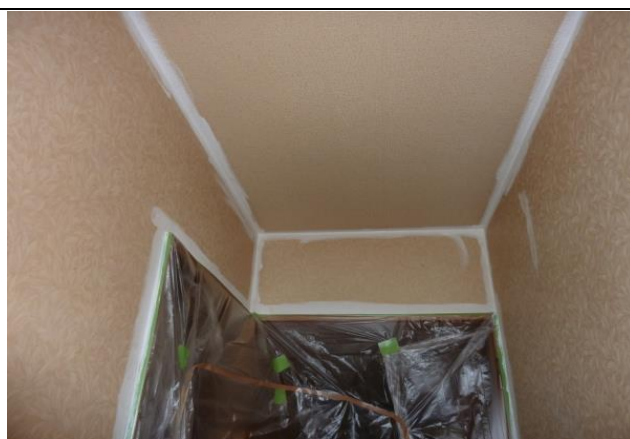
下げ缶にカートリッジをセットして、塗料を半分ほど刷毛に塗料を付けますが、毛の全部を漬けると塗る際にトボトボたれますので、毛の半分ぐらいを漬けて、さらに下げ缶の縁で余分な塗料を落とすようにしてから塗ります。



刷毛を使うのは、ローラーで塗れない場所を塗るためです。狭い場所や細かい場所、凸凹の場所や隅、入りくんだ場所など、平面以外の場所は刷毛で塗装します。刷毛は小さく左右にちょこちょこ塗るというよりも、ストロークを長くして何度も往復させて塗るようにします。



エアコンやパイプまわり、窓周りなども、ローラーで塗れない場所は、すべて刷毛で塗装していきます。通常は筋かい刷毛を使用してより細かい隙間などは平刷毛を使います。



このように塗れたら、後はローラーの作業に入ります。

### ③ローラーの使い方



左からバケツ、カートリッジ、ローラーネット



セットした状態。



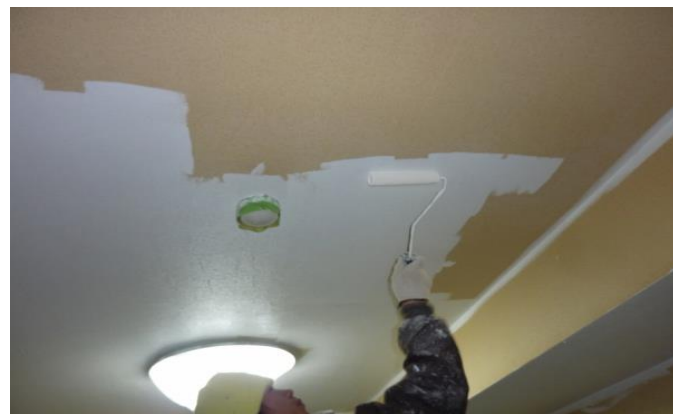
塗料を3分の1ほど入れた後、ローラーを塗料に漬け込んでから、ネットでコロコロと余分な塗料を落とすように転がします。これをしないとローラーからダラダラと塗料がしたり落ちて、キレイに作業することができません。



壁は天井から塗っていきます。端から順にムラなく、ローラーの継ぎ目、塗料の溜まりなく、塗装膜の厚みを平均にするようなイメージを心がけて、ローラーを転がしながら塗り広がっていきます。カスレや下地が透けて見えていても、中塗りと上塗りで消えていきます。



脚立にのぼって塗る場合と、長柄に接続して塗装してもいいでしょう。どちらかがいいかは職人でもそれぞれによりますので、やりやすい方で作業してください。



端から順々に塗っていきます。ローラーは使っていくうちに、はじめのフカフカ状態のローラーから、徐々に毛が圧縮されて固く塗りづらくなり、作業が進みにくくなりますので、そう感



|                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                        | <p>じたら新しいローラーに交換しましょう。</p>                                                                                                                                                    |
|  <p>壁も天井と塗り方は同じです。塗料をある程度きってから、壁に塗装していきます。壁の端から順に、上から下のほうに塗り広げていきます。</p>                              |  <p>塗料はローラーの先端のほうに溜まりやすくなり、そのまま転がすと、ローラーの継ぎ目が余計出やすくなるため、先端を壁にこすりつけて余計な塗料を吐き出させるといいでしょう。</p> |
|  <p>塗っている最中は、このように壁に塗料のたれがないか確認しながら塗ります。乾いて垂れのままになってしまわないように、見つけたらすぐに塗料をきった刷毛で、サッと拭き取るようにしてください。</p> |  <p>養生の端を無理に刷毛やローラーで突くと、このように漏れる原因となります。マスキングテープはきっちりと、その部分の作業は力を入れすぎないように塗りましょう。。</p>     |

## 6. 中塗り・上塗り(仕上げ)

塗り方は下塗りと同じです。

ただしそれぞれ乾いてから次の工程にはいります。

乾いたかどうかの確認は、壁の端っこや隅の目立たないところで、軽く指で触れてみて付かないようでしたら重ね塗り OK です。



乾いたのを確認してから、重ね塗りに入っていきます。中塗りから上塗りへは、同じ色の塗料を塗り重ねるわけですから、塗り残しのないように確認して順々に塗っていきます。



外からの明かりを利用して、塗れていないか塗れているかの確認をするようにするといいいでしょう。光沢は乾燥するときちゃんとツヤ消しになります。



ふすまなどは取り外して塗装したほうが楽でしょう。



すべての工程において、塗り残しがないか確認しながら、塗っていきましょう。

## 7. 養生をはがす。

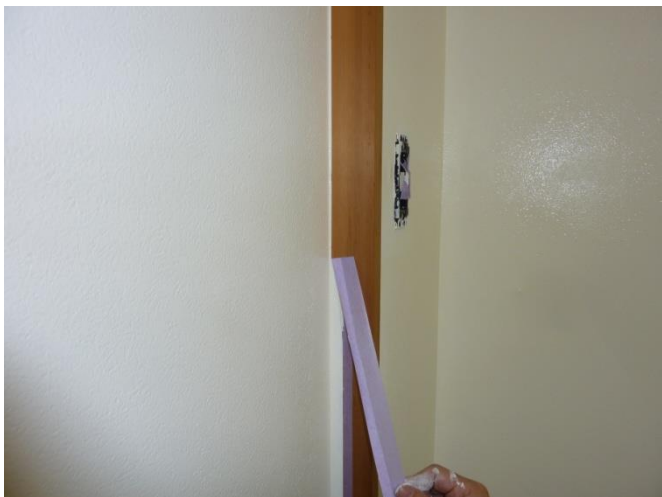
動画) → <https://youtu.be/Me0LyoEd34U>



養生を丁寧にゆっくりとはがしていきます。  
急いではがすとビニールが壁にくっつくなどして、壁に跡が付いてしまいます。



養生をはがすときも、高い天井のほうの養生から下の養生へとはがしていきます。



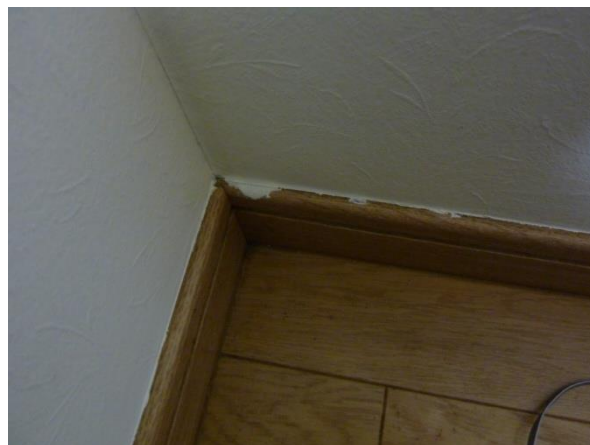
マスキングテープのところも、ゆっくりときれいにはがしていきます。



最後に床の養生をはがして完成です。



## 8. 漏れた塗料をふき取る。



どんなに養生をきっちりとしたつもりでも、必ず塗料の漏れが出てきます。漏れた場所はカッターなどで、削って取り除きます。

室内塗装ユーチューブまとめ

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLT6dfHxFUWZTFihhscVjd5gyAl6HLAgYG>

参考サイト

DIY 塗装とはじめての外壁塗装

<http://www.tosoushokunin.net/block01.html>

作成・発行者

神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 1235-9

株式会社 塗装職人

東京店⇒<http://gaihekitosou-tokyo.info/>

横浜店⇒<https://www.nuru.co.jp/>

マンション大規模修繕⇒<http://www.tosoushokunin.jp/>

045-382-3600